２０２６年度

久留米大学大学院ビジネス研究科
（ 修 士 課 程 ）

学　生　募　集　要　項

久　留　米　大　学

目　　次

アドミッション・ポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

大学院ビジネス研究科概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

授業科目および担当教員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

大学院ビジネス研究科入試日程　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

出願資格(一般入学試験・社会人入学試験・外国人留学生入学試験)　・・・・・・・・・9

個別の入学資格審査について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

出願書類および出願期間等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

入学者選抜方法(一般入学試験・社会人入学試験・外国人留学生入学試験)　・・・・・14

受験上の諸注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

長期履修制度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

合格者発表と入学手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

学納金・奨学金制度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

◎入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし症状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。なお上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理は十分に注意してください。

個人情報の取扱いについて

個人情報の利用

① 入学願書に記載されたあなたの個人情報は、本学における出願処理、書類不備の連絡（これはあなたの在籍校に対して行うこともあります)、入学試験の実施、合格した場合の通知・連絡、入学手続に関する書類の送付・連絡、入学手続をした場合の資料送付に利用します。

② 本学は、上記の個人情報を、各種統計資料作成のために利用します。統計資料の公表に際しては、個人が特定できないように処理します。

≪アドミッション・ポリシー≫

新しい社会をひらくビジネス専門職業人･研究者の育成を教育理念とするビジネス研究科では､ビジネスに関する高度かつ専門的な理論と実践の研究に対する意欲と能力を有する人材を評価し、受け入れることを入学者受入方針としています。

大学院ビジネス研究科概要

１ 理念および目標

教育理念：新しい社会をひらくビジネス専門職業人・研究者の育成

(1) 商学部との一貫体制でキメ細かい高次教育

ビジネス研究科は、基盤学部である商学部と密接な関係を維持し、より社会のニーズに対応できる高度でキメ細かいビジネス教育・研究を行うことを目的としています。

(2) 地域ビジネスの活性化と共に

本学のビジネス系高次教育は、よりターゲットを明確にした、地域ビジネスの活性化に資するための人材養成を目的としています。すなわち、研究者への道を残すとともに、産・官・学 3 者の密接な協力のもと、地理的優位性を踏まえて、九州地区の企業・公的組織体の中で中核となるに相応しい高度の専門的知識を備えた人材の育成を目指しています。

(3) 社会のニーズの変化とビジネス研究科の対応

近年の社会環境の変化は、ビジネス系高次教育への多彩なニーズの発生と、多方面からの異なったキャリアを持つ志望者を生むことになり、これに応えることが、大学院ビジネス研究科の存在意義となっています。

２ 方針と特色

上の理念を受けて、具体的な教育課程編成と特色は以下のとおりです。

(1) 基礎科目、専門科目、演習の３層カリキュラム

基礎科目は、ビジネス系高次教育の基盤知識を十分に学習していない入学者にも配慮した科目群です。ビジネス系以外の分野からの入学者も基盤知識を習得できるように基礎科目が配置されており、異なった分野からの入学者も歓迎しています。既にビジネス系の基礎知識を持つ入学者は商学、経営学、会計学、基礎情報科学、会社法といった基礎科目の履修を免除されます。

(2) 専門科目は２コース配分

ビジネス研究科は、マネジメント、アカウンティングの２コースから編成されています。マネジメントコースには、伝統的な商学・経営学の科目および現代ビジネスの新たなビジネス領域に属する科目、アカウンティングコースには、会計学関係に環境・知財会計も含む科目を配置しています。

(3) 演習

演習はビジネス研究に関する論文指導をより効果的に実施しようというものであり、指導教員が適切なアドバイスを定期的に実施できるようにカリキュラムにとり入れています。

以上のコース分けにより、公認会計士・税理士・教員･公務員などの資格取得支援や新規領域を含めて、組織内でリーダーシップをとれる優秀な人材の育成を目指した研究・教育が可能です。

３　修士課程

大学院ビジネス研究科は、基本的には「ビジネス」を中心に据えて研究を行う大学院ですが、入学者がこれを学ぶ場合、専門分野に応じて、次の２つのコースを設けています。

◎ マネジメントコース

伝統的なビジネス系科目（商業論、貿易論、交通論、流通論、保険論、マーケティング論、経営管理論、経営組織論、財務論、経営史など）に加えて、ビジネスの新たな動向に取り組む科目（経営戦略論、ＩＴビジネス論、イノベーションマネジメント論、国際ビジネス論など）が配置されており、企業のビジネス活動に関する多様な研究が可能なコースです。

◎ アカウンティングコース

企業の経営成果の計算および将来の経営計画の設定などに不可欠な知識を学び、研究を深める科目と共に、会計の新しい動向に対応する科目が配置されています。すなわち、簿記論、財務諸表論、財務会計論、管理会計論、原価計算論、などに加えて、キャッシュフロー会計論、国際会計論、そして今後、さらに重要度を増す、知財会計論、環境会計論などの分野を研究するコースです。

４　履修方法

(1) 入学後所定の期日までに、出願時に選択したコースを担当する教員の内より、1 名の指導教員をその承認を得て選びます。

(2) 入学後所定の期日までに、研究に必要な科目の履修について指導教員と相談して決定し、Web 履修登録を行います。

(3) 2 年以上の在学期間に、専門科目の合計 32 単位以上を修得します。

●専門科目

ア	専門科目	24 単位以上
イ	演習Ⅰ（研究指導）	4 単位以上
ウ	演習Ⅱ（論文指導）	4 単位以上

ただし、ビジネス系学部以外の出身者は、更に基礎科目の中から 6 単位以上を履修しなければなりません。

●基礎科目　6 単位

(4) 修士学位を取得するためには、上記の単位を修得するほか、必要な研究指導を受けた上で、学位論文の審査および最終試験に合格しなければなりません。

5　学位の授与

本学大学院ビジネス研究科（修士課程）を修了した者には、「修士（商学）または修士（経営学）」の学位を授与します。

学 位 の 種 類	取得できるコース
修士（商　学）	マネジメントコース、アカウンティングコース
修士（経営学）	マネジメントコース、アカウンティングコース

6　教員免許状の取得

所要の基礎資格を有する者が教育職員免許法に定める所要単位を修得することによって、次の表の教員免許状を取得することができます。ただし、専修免許状は中学校または高校教諭の一種免許状を所持していることが条件です。

免許状の種類	免　許　教　科
高等学校教諭専修免許状	商　　業

7　税理士試験

税理士試験を受験し、簿記論か財務諸表論のいずれか一科目合格者で、会計学に属する科目に関する研究により修士の学位を授与された者が所定の申請手続を満たせば、会計学に属する他の一科目が免除される制度があります。
なお、税理士試験における修士の学位等取得による試験科目の免除制度は、国税庁ホームページを確認してください。

■授業科目および担当教員

1　基 礎 科 目

2025 年 4 月現在

科 目 名	単 位	担 当 教 員	備考
商学	2	真部　和義	ビジネス系学部以外の出身者は、基礎科目から 6 単位以上を選択
経営学	2	宮本　琢也	
会計学	2	異島　須賀子	
基礎情報科学	2	穴澤　務	
会社法	2	本間　美奈子	

2　演　　習

科 目 名	単 位	担 当 教 員	備　考
演　習Ⅰ(研究指導)	4	穴澤　務	いずれか１名の演習Ⅰを選択
		異島　須賀子	
		浦田　隆広	
		奥井　秀樹	
		木下　和也	
		金　亨洙	
		金　瑢	
		杉野　博貴	
		髙橋　宏幸	
		福永　文美夫	
演　習Ⅰ(研究指導) （長期履修生）	2	穴澤　務	いずれか１名の演習Ⅰを選択 長期履修生のみ履修可
		異島　須賀子	
		浦田　隆広	
		奥井　秀樹	
		木下　和也	
		金　亨洙	
		金　瑢	
		杉野　博貴	
		髙橋　宏幸	
		福永　文美夫	

演　習Ⅱ(論文指導)	4	穴澤　務	
		異島　須賀子	
		浦田　隆広	
		奥井　秀樹	
		木下　和也	
		金　亨洙	
		金　瑢	
		杉野　博貴	
		髙橋　宏幸	
		福永　文美夫	
演　習Ⅱ(研究指導) (長期履修生)	2	穴澤　務	
		異島　須賀子	
		浦田　隆広	
		奥井　秀樹	
		木下　和也	
		金　亨洙	
		金　瑢	
		杉野　博貴	
		髙橋　宏幸	
		福永　文美夫	
演　習Ⅲ(研究指導) (長期履修生)	2	穴澤　務	
		異島　須賀子	
		浦田　隆広	
		奥井　秀樹	
		木下　和也	
		金　亨洙	
		金　瑢	
		杉野　博貴	
		髙橋　宏幸	
		福永　文美夫	

演　習Ⅳ（論文指導） （長期履修生）	2	穴澤　務	
		異島　須賀子	
		浦田　隆広	
		奥井　秀樹	
		木下　和也	
		金　亨洙	
		金　瑢	
		杉野　博貴	
		髙橋　宏幸	
		福永　文美夫	

3　専 門 科 目

【マネジメントコース】

科 目 名	単 位	担 当 教 員	備　考
経営管理論	4	―	隔年開講
経営診断論	4	―	
経営組織論	4	福永　文美夫	隔年開講
経営財務論	4	伊藤　祐	
経営史	4	―	
交通論	4	―	
証券市場論	4	伊藤　祐	
人的資源管理論	4	奥井　秀樹	
商業論	4	真部　和義	
ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	4	―	
国際ﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ論	4	金　亨洙	
流通ｼｽﾃﾑ論	4	真部　和義	
保険論	4	金　瑢	
国際物流論	4	―	
マネジメント特講	4	―	
経営戦略論	4	―	隔年開講
経営情報ｼｽﾃﾑ論	4	―	
ITﾋﾞｼﾞﾈｽ論	4	―	
ﾛｼﾞｽﾃｨｯｸ論	4	近江　貴治	
ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ論	4	―	隔年開講
NPO 経営論	4	―	
地域産業論	4	―	
国際ﾋﾞｼﾞﾈｽ論	4	髙橋　宏幸	
比較経営論	4	―	
金融論	4	―	
経営科学論	4	穴澤　務	
経営政策論	4	―	
ｻｰﾋﾞｽﾋﾞｼﾞﾈｽ論	4	加藤　淳一	隔年開講
観光ﾋﾞｼﾞﾈｽ論	4	―	隔年開講
ﾋﾞｼﾞﾈｽ特講	4	―	

【アカウンティングコース】

科 目 名	単 位	担 当 教 員	備　考
簿記原理	4	―	
財務諸表論	4	杉野　博貴	
財務会計論	4	―	
会計情報論	4	―	
ｷｬｯｼｭﾌﾛｰ会計論	4	―	
管理会計論	4	―	隔年開講
管理会計史	4	高梠　真一	隔年開講
原価計算論	4	浦田　隆広	
国際会計論	4	異島　須賀子	隔年開講
知財会計論	4	金田　堅太郎	
会計監査論	4	―	隔年開講
原価企画論	4	―	
原価管理論	4	―	
経営分析論	4	杉野　博貴	
税務会計論	4	星田　幸太郎	
会社税法	4	星田　幸太郎	
法人税法	4	―	
ｱｶｳﾝﾃｨﾝｸﾞ特講	4	―	

■入試日程

秋期入試

一般入学試験・社会人入学試験・外国人留学生入学試験	
出願期間	2025 年　8 月　8 日(金)～8 月 18 日(月)必着
試験日	2025 年　9 月　1 日(月)
合格発表	2025 年　9 月 19 日(金)発送
入学申込締切日	2025 年　9 月 30 日(火)必着
入学手続締切日	2025 年 12 月 12 日(金)必着

春期入試

一般入学試験・社会人入学試験・外国人留学生入学試験	
出願期間	2026 年 1 月　7 日(水)～1 月 15 日(木)必着
試験日	2026 年 2 月 11 日(水・祝)
合格発表	2026 年 2 月 20 日(金)発送
入学申込・手続締切日	2026 年 3 月 9 日(月)必着

※自然災害または国内外の情勢により、入学試験の実施が困難な場合は、試験日等を変更する可能性がありますので、本学ホームページを確認してください。

■募集人員

◇　12 名（秋期・春期入試の合計）

※日本の大学を卒業または卒業見込みの留学生は、3 つの試験区分〈一般入学試験・社会人入学試験(出願資格に該当する者)・外国人留学生入学試験〉のうちのいずれか 1 つを選択できます。

■出願資格

1　一般入学試験

下記のいずれかに該当する者

(1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者、または 2026 年 3 月までに卒業見込みの者
(2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
(3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
(4) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または修了見込みの者
(5) 文部科学大臣が指定した者
(6) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
(7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者【注】
(8) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校の学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
(9) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が該当外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者

2　社会人入学試験

下記のいずれかに該当する者

(1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者、または 2026 年 3 月までに卒業見込みの者で入学時に 2 年以上の職業経験を有している者（出願時の在職は問わない）
(2) 学校教育法第 83 条に定める最終学歴となる大学を卒業した後 5 年以上経過している者
(3) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された後 5 年以上経過している者
(4) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した後 5 年以上経過している者
(5) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者で入学時に 2 年以上の職業経験を有している者（出願時に在職は問わない）
(6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（2026 年 3 月 31 日現在 27 歳以上）で入学時に 2 年以上の職業経験を有している者（出願時に在職は問わない）【注】
(7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後 5 年以上経過している者
(8) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した後 5 年以上経過している者
(9) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者で、勤務先からの推薦により在職のまま派遣される者

3　外国人留学生入学試験

日本国籍を有しない者で下記のいずれかに該当し、入学後「留学」の在留資格が取得できる者
（日本国外在住者は秋期入試のみとする）

(1) 学校教育法第 83 条に定める大学を卒業した者、または 2026 年 3 月までに卒業見込みの者
(2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者、または 2026 年 3 月までに授与される見込みの者
(3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
(4) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、または修了見込みの者
(5) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
(6) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者【注】
(7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者
(8) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者に限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、または 2026 年 3 月までに修了見込みの者

■個別の入学資格審査について【出願資格の注】

短期大学、高等専門学校、専修学校、高等学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者など大学の卒業資格を有していない者であっても、本研究科による個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で満 22 歳に達した者(社会人入学試験希望者は満 27 歳に達した者)は、出願資格を認めることができます。

個別審査を希望する者は、事前に入試課(0942-44-2160)まで相談してください。申請書・履歴書・成績証明書・卒業証明書・「1 万字程度の論文」または「卒業後の成果物※」の提出が必要となります。

※ 卒業後の成果物とは、自己の能力を証明する書類等（例えば、著書、論文、学会発表、特許、専門性にかかる資格、実務経験または語学力等を証明する書類等。資格保有者は、その写しを添付してください。）

◇個別審査書類の提出締切日◇

秋　期： 2025 年　6 月 27 日（金）必着

春　期： 2025 年 10 月 31 日（金）必着

■ 出願書類および出願期間等

1　出願書類について

出　願　書　類	留　　意　　事　　項	
入　学　願　書	所定の用紙に必要事項を記入のうえ、提出してください。また試験区分・コース名・希望する指導教員名は必ず記入してください。	共　通
履　　歴　　書	高等学校以上の学校名を記入してください。 ※外国人志願者は小学校から	共　通
写　真　票・ 入学検定料納付票	本研究科所定の用紙に記入してください。 入学検定料 32,000 円。 本研究科所定の振込用紙を使用し、振込送金証明書を貼付してください。（納入した検定料は返還しない）	共　通
研　究　概　要　書	所定の用紙にこれまでの研究内容・志望理由・今後の研究内容を記入して提出してください。	共　通
成　績　証　明　書	出身大学の所定の用紙に当該大学（学部）長が証明したものを提出してください。中国の学校を卒業している場合は、P12 を参照してください。	共　通
卒　業　証　明　書	出身大学の所定の用紙に当該大学長が証明したものを提出してください。また 2026 年 3 月までに卒業見込みの者は卒業見込証明書を提出してください。 中国の学校を卒業している場合は、P12 を参照してください。	共　通
住　　民　　票	居住する区･市役所等で発行される証明書で、すべての項目（在留資格、在留期間、登録証明書番号等）が記載されたものを提出してください。なお、出願書類には、必ずこの証明書記載の氏名を用いてください。また受験のため短期間（90 日以内）滞在する者は、入国査証の写しを提出してください。マイナンバーの記載がないものを提出してください。	外国人留学生の　み
留 学 生 調 査 書	所定の用紙に記入して提出してください。 ※経費支弁に係る証明書等を添付してください。	外国人留学生の　み
志　望　理　由　書	最終学歴の学校を卒業後 5 年以上経過している者は、所定の用紙に記入して提出してください。	外国人留学生の　み

※　証明書には氏名、生年月日、入学年月、卒業年月が記載されていることを必須とします。
卒業証明書または成績証明書のいずれの証明書にも記載されていない場合は、在籍期間が分かる証明書（例：在学期間証明書等）を提出してください。

◇中国の大学を卒業した方へ ※香港、台湾、マカオを除く

中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。中国国内で発行された各種証明書の公証・認証手続きは、中国国内の CHSI（中国高等教育学生信息網）（北京市）もしくは CHSI の日本代理機構、CSSD（教育部学生服务与素质发展中心）において行われます。

中国の大学を卒業している場合は、下記の書類が必要です。認証機関が認証した電子報告書を申請して出願してください。

日本の４年制大学を卒業した外国人留学生については、この手続きは不要です。

A. 大学を卒業した者

１．大学の卒業証書の原本（コピー後、返却）
２．学位証書の原本（コピー後、返却）
３．大学の成績証明書（原本）
４．中国高等教育学位在线验证报告　　中国高等教育学生信息網（CHSI）が認証したもの※
５．中国高等教育学歴認証　　中国高等教育学生信息網（CHSI）が認証したもの※
６．中国高等教育成績認証　　中国高等教育学生信息網（CHSI）が認証したもの※

B. 出願時において、卒業（修了）見込者の場合

出身大学が発行する「学位取得見込証明書」「卒業（修了）見込証明書」（日本語訳を添付）を提出してください。卒業（修了）後は，速やかに「A. 大学を卒業した者」に記載の手続を完了してください。

※中国高等教育学生信息網（CHSI）が発行する認証書は、出願締切日までにそれぞれの認証機関からの電子認証報告メールが、直接久留米大学へ送信されるように申請してください。

また、申請受付を完了したことがわかる証明画面等を印刷し、出願書類に同封し提出してください。

久留米大学　入試課　⇒　nyushi@kurume-u.ac.jp

申請に関する詳細は、各認証機関の Web サイトでご確認ください。

■注意事項

１．出願期間内に認証書が本学に到着しない場合、当該試験は受験できませんのでご注意ください。
なお、認証機関による認証書以外に、出身大学より発行された学部の卒業証明書・成績証明書を提出する必要があります。
２．外国語で作成された証明書は、日本語訳を添付してください。
３．合格後であっても、認証書が無効な場合は、入学許可を取り消します。
４．**志願者本人が受信した電子認証報告メールの転送では認められません。必ず、認証機関から久留米大学へメールが直送されるように手配してください。**

２　出願期間

◇秋期：2025 年 8 月 8 日(金)～8 月 18 日(月)必着

◇春期：2026 年 1 月 7 日(水)～1 月 15 日(木)必着

３　出願方法

◇郵送による出願の場合は、本研究科所定の出願封筒用ラベルを使用し、「簡易書留」にて郵送してください。
◇日本国外在住者は日本国内在住の身元保証人等を通じて手続を行ってください。
◇提出書類はすべて締切日必着です。消印有効ではありませんので注意してください。

４　出願先および問い合わせ先

〒839-8502　久留米市御井町 1635
久留米大学　入試課
ＴＥＬ　0942-44-2160
ＦＡＸ　0942-43-4539

※電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

５　出願上の諸注意

① 出願書類の作成にあたっては、黒色のボールペンを使用してください。
② 提出書類に不備がある場合は、受理できないことがあります。提出書類に不明な点があった場合は、入試課から電話連絡することがあります。
③ 偽造した出願書類を提出した、または提出した書類に虚偽の記載が含まれていた場合は、出願を取り消します。
④ 外国語で作成された証明書等の書類は、日本語訳を提出してください。
⑤ 改姓改名により証明書と氏名が異なる人は、戸籍抄本等（証明ができるもの）を提出してください。
⑥ 出願後のコース変更は認めません。
⑦ 一度受理した出願書類および入学検定料は返還しません。

６　受験票の送付

◇受験票は、願書受付締切後、本人宛に送付します。試験日 3 日前までに受験票が届かない場合は入試課へ連絡してください。

■入学者選抜方法

1　一般入学試験

入学者の選抜は、研究概要書、筆記試験（専門科目）、口述試験および出身大学（学部）長が証明する成績等を総合して判定します。

(1) 試験期日・試験科目・試験時間

実施日　秋期：2025 年 9 月 1 日（月）
　　春期：2026 年 2 月 11 日（水・祝）

◎試験時間

試　験　科　目	配　点	時　　間	試　験　地
専　門　科　目	200 点	11：00～12：30	久 留 米 大 学 御井キャンパス (久留米市御井町 1635)
口　述　試　験	100 点	13：10～	

(2) 筆記試験

専門科目

[マ ネ ジ メ ン ト コ ー ス]

経営学または商学より 4 問出題し、そのうち 2 問を選択してください。

[アカウンティングコース]

会計学より 4 問出題し、そのうち 2 問を選択してください。

*出題はコース別です。

*出願後のコース変更は認めませんので、注意してください。

(3) 集合時間

受験生は 10 時 40 分までに試験場へ入室してください。

(4) 試験会場

試験教室は、受験票を送付する際に、お知らせします。

２　社会人入学試験

入学者の選抜は、研究概要書、筆記試験（専門科目）、口述試験および出身大学（学部）長が証明する成績等を総合して判定します。

(1) 試験期日・試験科目・試験時間

実施日　秋期：2025 年 9 月 1 日（月）
　　春期：2026 年 2 月 11 日（水・祝）

◎試験時間

試　験　科　目	配　点	時　　間	試　験　地
専　門　科　目	100 点	11：00～11：45	久 留 米 大 学 御井キャンパス (久留米市御井町 1635)
口　述　試　験	200 点	12：20～	

(2) 筆記試験

専門科目

［マネジメントコース］

経営学または商学より 4 問出題し、そのうち 1 問を選択してください。

［アカウンティングコース］

会計学より 4 問出題し、そのうち 1 問を選択してください。

*出題はコース別です。

*出願後のコース変更は認めませんので、注意してください。

(3) 集合時間

受験生は 10 時 40 分までに試験場へ入室してください。

(4) 試験会場

試験教室は、受験票を送付する際に、お知らせします。

3　外国人留学生入学試験

入学者の選抜は、研究概要書、筆記試験（専門科目）、口述試験および出身大学（学部）長が証明する成績等を総合して判定します。

(1) 試験期日・試験科目・試験時間

実施日　秋期：2025 年 9 月 1 日（月）
　　春期：2026 年 2 月 11 日（水・祝）

◎試験時間

試験科目	配点	時間	試験地
専門科目	200 点	11：00～12：30	久留米大学 御井キャンパス (久留米市御井町 1635)
口述試験	100 点	13：10～	

(2) 筆記試験

専門科目

［マネジメントコース］

経営学または商学より 4 問出題し、そのうち 2 問を選択してください。

［アカウンティングコース］

会計学より 4 問出題し、そのうち 2 問を選択してください。

*出題はコース別です。
*出願後のコース変更は認めませんので、注意してください。
*日中・中日辞書等を貸与します。なお、受験生による辞書持込みは認めません。

(3) 集合時間

受験生は 10 時 40 分までに試験場へ入室してください。

(4) 試験会場

試験教室は、受験票を送付する際に、お知らせします。

４　受験上の諸注意

1　試験当日は指定した集合時間までに各自の受験番号の席に着席してください。

2　試験開始後 20 分を経過してからの入室は一切認めません。試験開始後 20 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。

3　受験票は必ず持参してください。試験当日に、受験票を忘れたり、紛失した場合は、速やかに入試係員へ申し出てください。

4　受験票は試験中、常に机上の見やすい所に置いてください。

5　受験票の他に机の上に置ける物は、筆記用具・時計・眼鏡・目薬・ティッシュペーパー(中身のみ)です。電卓・計算・辞書機能など時刻表示以外の機能がついた時計の持ち込みは認めません。また文具・時計の貸し出しは行っていませんので、個人で用意してください。

6　携帯電話の電源は切ってください。

7　筆記用具は黒色の鉛筆を使用し、解答は、はっきりと書いてください。

8　試験時間内に解答が終了した場合でも、その科目の試験終了までは退室できません。

9　試験途中やむを得ない理由で退出を希望する者は、監督者に申し出てください。

10　解答用紙には受験番号を必ず記入してください。なお受験番号の記入もれ・誤記入は採点の対象としない場合もあるので十分注意してください。

11　不正行為等を行った場合は、その場で受験中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての成績を無効とします。なお、警察に被害届を出す場合があります。
※「不正行為等の取扱い」については、ホームページを確認してください。
https://best.kurume-u.ac.jp/admissions/topics/ng/

■長期履修制度

長期履修制度とは、社会人を対象に修学支援を行うことを目的とした 4 年にわたる修士課程の履修を認める制度です。

1　対象者
仕事を有している者、家事・育児・介護等の事情がある者で、本研究科が認めた者

2　募集定員
若干名

3　申請時期・方法
事前に「長期履修制度　受験確認願」（本研究科所定の用紙）を提出してください。本研究科にて審査し認めた者へ通知を行います。また長期履修者として許可後の取り消し等の変更は認めません。

希望者は事前に入試課まで、連絡してください。(久留米大学入試課：0942-44-2160)

【「長期履修制度　受験確認願」提出締切日】　秋期　7 月 16 日(水)／春期　12 月 17 日(水)
※提出締切日必着です。消印有効ではありませんので注意してください。

4　履修年限
長期履修を認める期間は、4 年とします。

5　履修可能単位
年間 16 単位まで履修できます。ただしビジネス系学部以外の出身者は、18 単位まで履修できます。また最終学年時は 20 単位を上限として履修できます。

6　授業料・教育充実料
2 年間の授業料・教育充実料を 4 年間で支払うことになります。ただし、留年した場合は 1 年ごとの支払いが必要となり、正規の授業料・教育充実料を徴収します。

■合格者発表と入学手続

1　合格発表

受験者全員に合否を郵送にて通知します。（合否に関する電話での問い合わせには一切応じません）

2　入学手続

入学手続の詳細および必要書類は、合格通知とともに送付します。合格者は、必要書類をそろえ、決められた期日までに手続を完了してください。なお入学手続書類の不着および遅配を理由とした入学手続期間締切後の入学手続は一切認めません。

3　学納金（2025 年度）

【一般履修者】

（単位：円）

項　目	１年次		２年次	
	入学時 ※1	後　期	前　期	後　期
入学金	240,000			
授業料	275,000	275,000	275,000	275,000
教育充実料	5,000	5,000	5,000	5,000
合　計	520,000	280,000	280,000	280,000

※1　本学卒業者は、入学金が半額（120,000 円）となります。
※2　2026 年度の学納金は改定することがあります。

【長期履修者】

（単位：円）

項　目	１年次		２年次		３年次		４年次	
	入学時※1	後　期	前　期	後　期	前　期	後　期	前　期	後　期
入学金	240,000							
授業料	137,500	137,500	137,500	137,500	137,500	137,500	137,500	137,500
教育充実料	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
合　計	380,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000

※1　本学卒業者は、入学金が半額(120,000 円)となります。
※2　2026 年度の学納金は改定することがあります。

4　奨学金制度

(1) 日本学生支援機構奨学金

人物・学業ともに優れ、経済的な理由のために修学困難な者に奨学金を貸与して、人材育成を目的とした育英奨学事業を行っている独立行政法人の奨学金です。

第一種奨学金（無利子貸与）、第二種奨学金（有利子貸与）の種別がありそれぞれ学力基準と家計基準を満たした者が出願資格を得ることができます。

種　別	貸与月額(2024 年度入学者)	手続締切日
第一種奨学金	50,000 円または 88,000 円	4 月下旬頃
第二種奨学金	50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円の中から希望により選択。	

(2) 久留米大学大学院奨学金

本研究科に優秀な研究者および指導者の育成を図ることを目的として奨学金制度を設け、学業・人物ともに優れ、健康であって経済的理由により修学が困難と認められる者を対象に奨学金を貸与します。

種　別	貸与年額	貸与者数	備　考
久留米大学 大学院奨学金	600,000 円	2 名	返還は、本研究科修了後、10 年以内(利子 1%)

●日本学生支援機構奨学金に申込み、不採用となった場合に申込受付を行います。

(3) 外国人留学生への奨学金

① 久留米大学大学院私費外国人留学生奨学金

経済的に修学困難、かつ学業・人物ともに優れた外国人留学生に対し、経済援助を行うことを目的として大学独自の奨学金制度を設けています。

種　別	貸与月額	利用者数	支給期間	手続締切
久留米大学大学院奨学金	30,000 円	8 名※	1 年間	4 月中旬頃

※2024 年実績

② その他の奨学金

外国人留学生に対する奨学金制度として、次の奨学金があります。

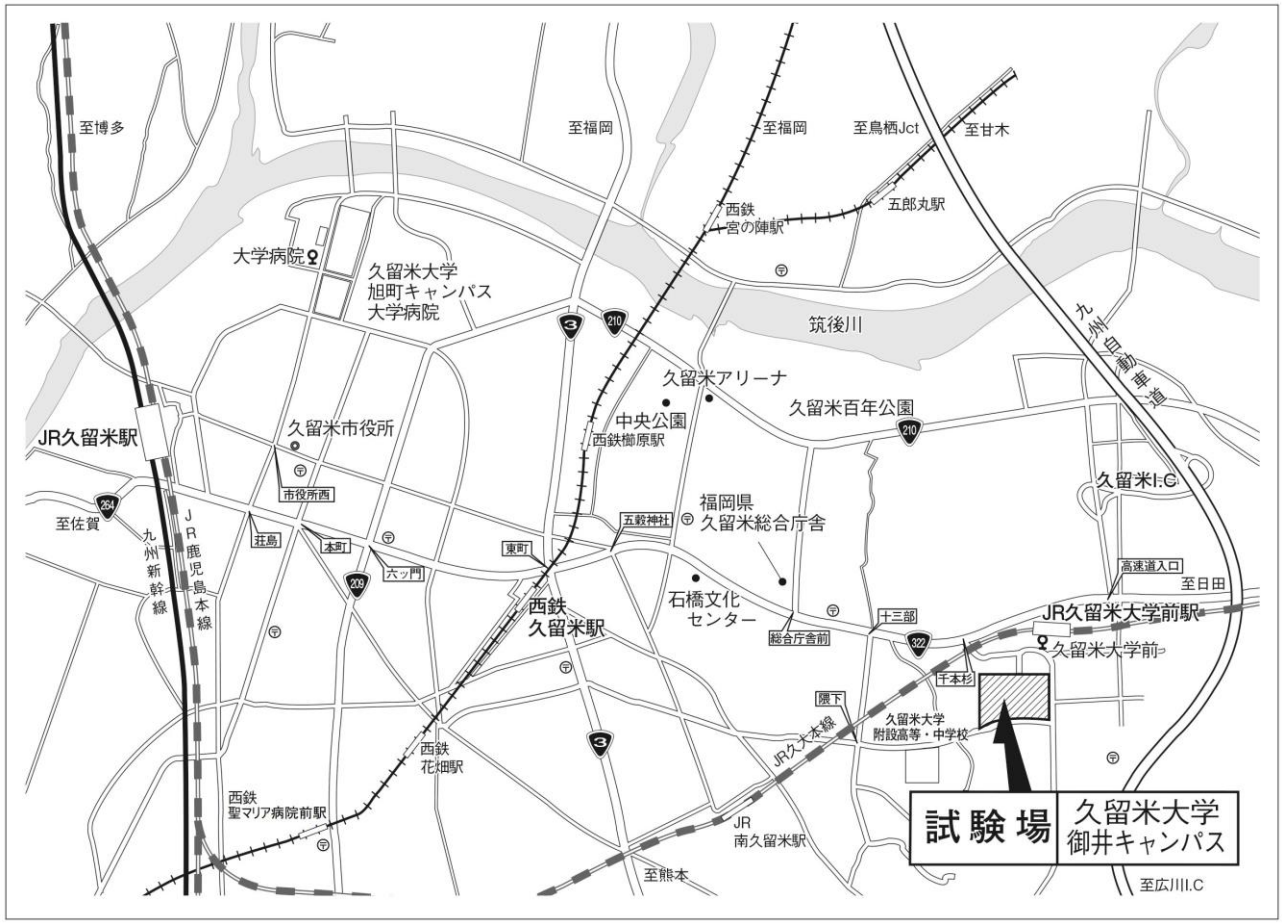
学習奨励費（文部科学省）、ロータリー米山奨学金、平和中島財団奨学金、公益信託椎木正和記念アジア留学生基金奨学金、(財）福岡県国際交流センター留学生奨学金、久留米大学留学生奨学金、朝鮮奨学会奨学金　等

5　学納金減免制度：外国人留学生

外国人留学生のうち、学業成績・人物ともに優秀で、経済的に修学困難な者に対し学納金の減免を行うことにより外国人留学生の勉学助成に寄与することを目的として学納金減免制度を設けています。

採用者数	減免額	手続締切
対象者の成績優秀者	入学金・授業料の半額	4 月中旬頃

試験場案内図



《本学までの交通機関》

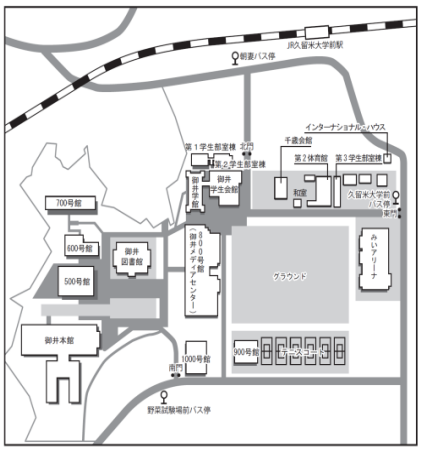
御井キャンパス

大学院（比較文化研究科・心理学研究科・ビジネス研究科）
文学部・人間健康学部・法学部・経済学部・商学部

■JR久留米大学前駅から徒歩３分

■西鉄バス系統番号１、1-1、２、７、９
（信愛学院、竹の子行きにて朝妻または久留米大学前下車）
《所要時間》JR久留米駅から25分
西鉄久留米駅から15分

久留米大学御井キャンパス配置図



久留米大学入試課

〒839-8502 福岡県久留米市御井町（みい）1635
TEL：0942-44-2160（直通）
FAX：0942-43-4539
E-mail　nyushi@kurume-u.ac.jp